

出雲市内の交通事故発生状況（令和6年2月末現在）

○出雲市内の人身事故件数

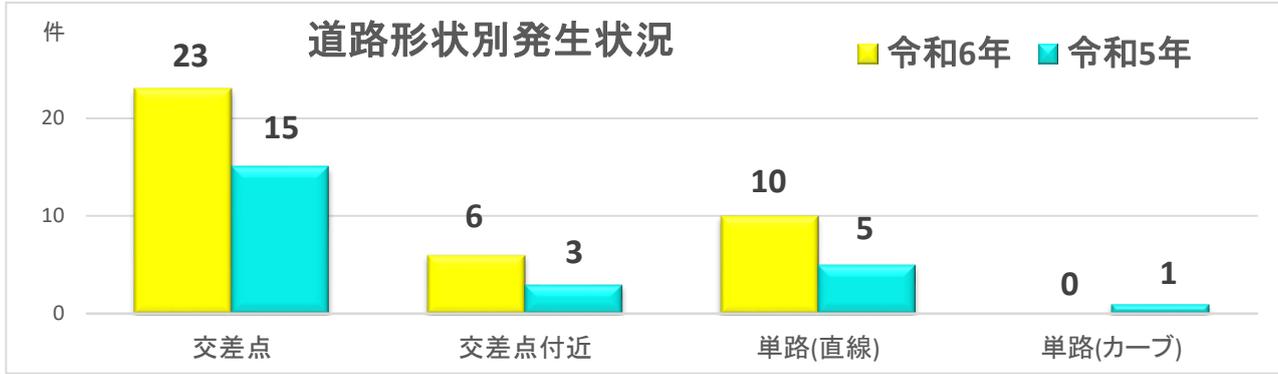
区分 年別対比	人身事故 件数	死者	傷者		
			重傷	軽傷	傷者計
令和6年	39	0	12	31	43
令和5年	24	0	9	16	25
増減数	15	0	3	15	18
増減率	62.5%	0.0%	33.3%	93.8%	72.0%

※市内発生的人身交通事故 令和4年12月末：230件 令和3年12月末：184件

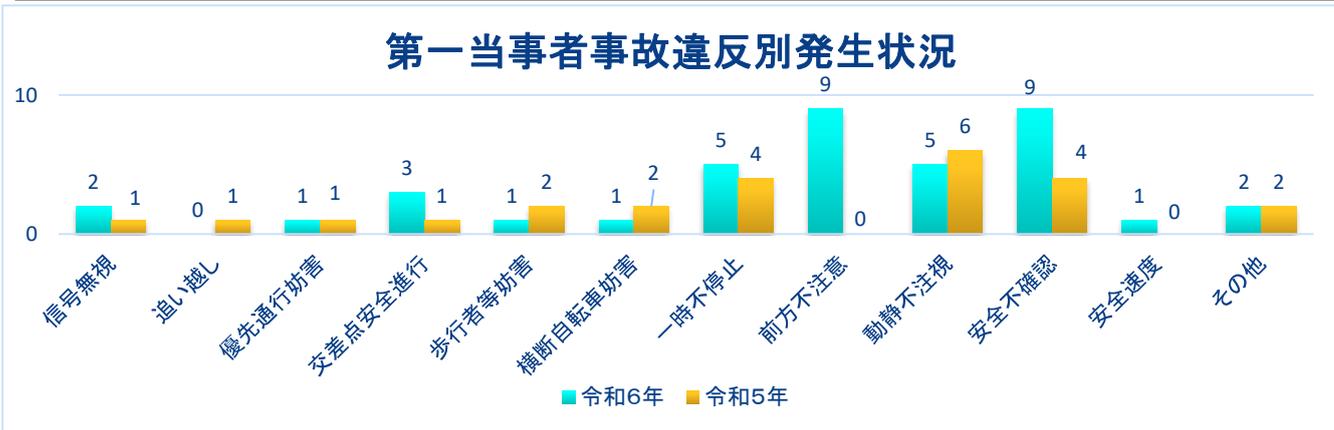
反射材を着用しましょう



W



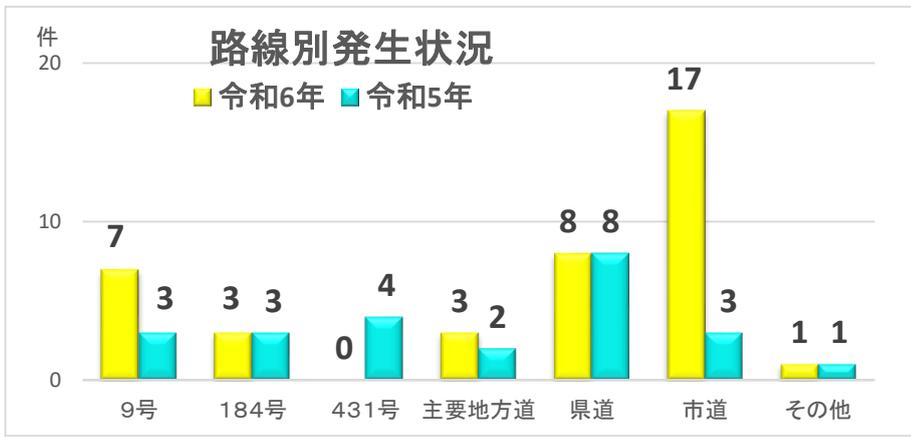
令和6年2月末現在、交差点での交通事故が多発しています。
見通しの悪い交差点では特に注意し、スピードを落とし左右の安全確認を徹底しましょう。



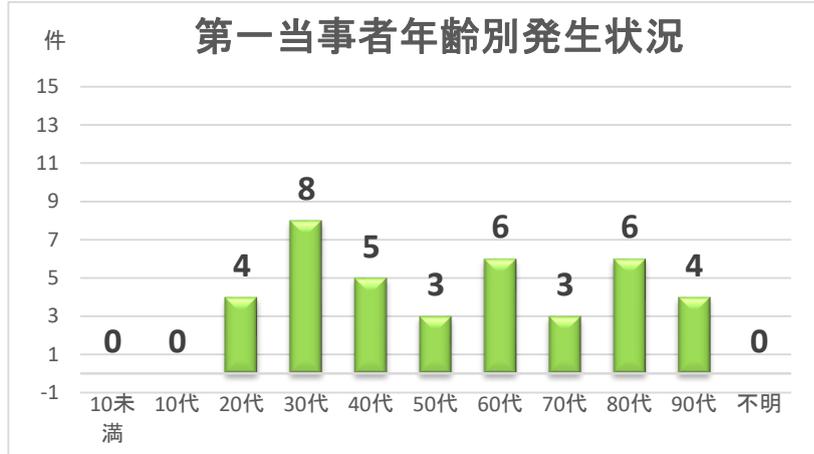
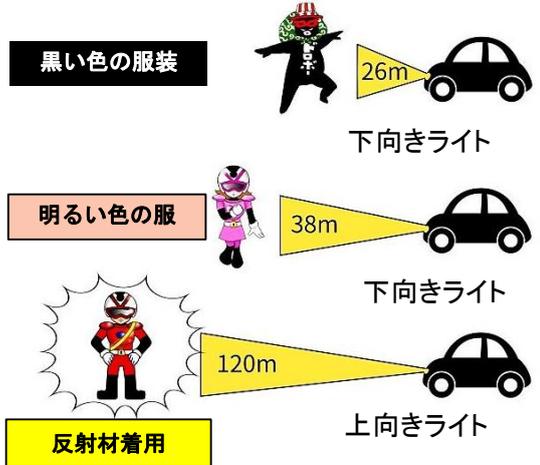
令和6年2月末現在、交通事故の発生原因で一番多いのは、「前方不注意」及び「安全不確認」です。
運転中は前方の状況を把握し、交差点では多段階一時停止を確実にし、周囲の安全を確認しましょう。



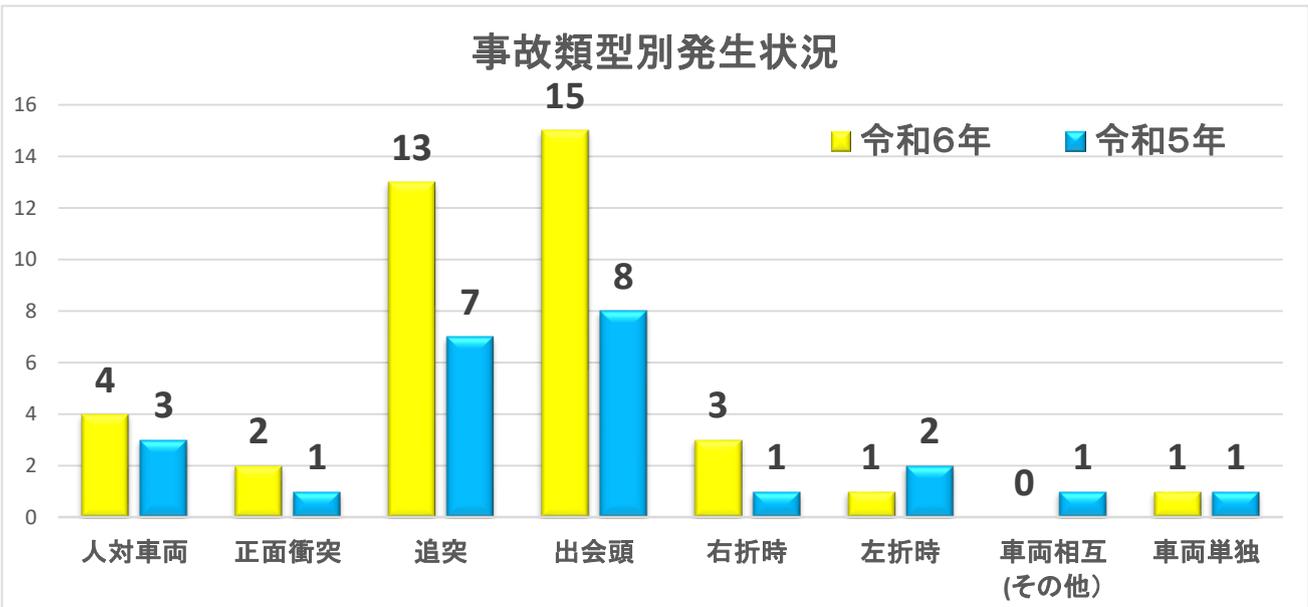
令和6年2月末現在、10時、17時、18時に最も多く交通事故が多く発生しています。
日中の活動が活発な時間や通勤・帰宅時は、心と時間に余裕を持って安全運転に心がけましょう。



令和6年2月末現在、市道での交通事故が多く発生しています。
いつも慣れている道でも安全確認を怠らず、道路幅や交通量に応じた安全速度で運転しましょう。



令和6年2月末現在、30歳代が第一当事者の割合として最も多く、次いで60歳代、80歳代となっています。
運転に慣れている、慣れた道だからと油断せず、「車や歩行者が来るかもしれない」と危険を予測するとともに、基本を忘れず安全運転を心がけましょう。



令6年2月末現在、交通事故の割合として一番多いのが「出会頭」です。
出会頭事故の原因として、主に「安全不確認」などが挙げられます。
安全確認を確実にいきましょう。